

美術科 担当教員：藤井 義法

使用教材:教科書、鉛筆、アクリル絵の具、学校が用意する教材、道具、自分で用意する資料、材料など

【学習の目標と学習方法】

教科の目標
（１）対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、造形的に表すことができるようにする。（知識・技能）
（２）造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かな発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりする。
（３）美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。（主体的に学習に取り組む態度）

・授業について		知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
*「アイデアを考える」、「手を動かして作品を作る」「作品鑑賞をして様々なことを感じる」ことを中心とした授業です。主体的に取り組ましよう。		知識 1・2・3年 ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。	技能 1年 ・意図に応じて表現方法を工夫している。 2・3年 ・意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。	1年 ・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて考えとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。 2・3年 ・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	1年 ・美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 2・3年 ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
・生徒のみなさんへ * 授業時数が少ないので、毎時間の授業を大切に、真剣に取り組もう。 * 作品や道具、教室の机など物を大切に扱う。 * 提出物に名前がなかったり、期限が守られないと点数がつけられません。作品や提出物をきちんと管理し、忘れ物などが無いようにしましょう。		評価観点			
・家庭学習について * 長期休業中や各学期に課題やレポートが出題されます。また、作品制作のためのヒントは日常にあります。日頃から色々なものにアンテナを張り、美術への興味関心を高めてください。		評価資料			
・試験前はこうに取り組もう * 授業で習ったことや教科書、プリントをよく見直しましょう。		・授業への取り組み ・ワークシート ・レポート ・作品 ・定期テスト			

1年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	デッサン、色の学習(10)	鑑賞(1)	木彫(6) (学期内課題)	鑑賞(1)	夏休み(課題)	本物そっくりにつくる(12) (学期内課題)	アロウキヤ賞(4) メッセージカード(1)	冬休み(課題)	鑑賞(1)	絵文字(9) (学期内課題)	計:45 h	
2年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	透視図法(4) (学期内課題)	鑑賞(2)	風景画(7)	夏休み(課題)	風景画(3)	銅板レリーフ・鑑賞(8) (学期内課題)	変化するイメージ(2)	冬休み(課題)	共同制作(2)	ポスター・鑑賞(7) (学期内課題)	計:35 h	
3年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	鑑賞(1)	抽象画(4)	京都奈良・点描画(6) (学期内課題)	鑑賞(1)	夏休み(課題)	飛び出す絵(13) (学期内課題)	冬休み	鑑賞(2)	絵画(8) (学期内課題)	計:35 h		